



ゆうすいの詩集 3

さくらじまゆうすい

いい加減にしろ

いい加減にしろ

僕はいい加減に生きているように見えるかい

これでも僕は真面目に生きている

明日は何が起こるかわからない

もしいい加減に生きてたら

将来苦しむのは自分自身だと知ってしまった

だからいろいろやる気だけはある

しかし心も体もついてこれない感じ

休息だって必要

集中しすぎても駄目だって言われた

でも一所懸命頑張ったご褒美が

いつかもらえるような気がする

いい加減な人生を送ってもよかったのだけれども

いつか自分の首を絞めるようなことになってしまいそうで

後悔するような気がする

僕に対して二通りのタイプの人間がいる

僕を見かけたら声をかけてくるタイプと

僕と分かっているけどシカトするタイプ

誰でもそんなことはあるのかなあ

無理する必要はないよ

誰とでも仲良くすることは無理だから

僕に興味を示さないのは

もともと縁がなかったということ

僕だってプライドがある

プライドが高すぎるぐらいだ

今まで無視したり馬鹿にした連中を

いつか見返そうと思っている

今まで出会った人たちは意味があるのだろう

いろんな人たちに出会ってきたけれど

僕を馬鹿にするやつ

逆に敬意を表する人

人を馬鹿にする輩はそういう態度でしか

プライドを満たせない自信のない人たちだろう

敬意を表する人たちは

自分に多少なりとも自信を持っている人たちだろう

よく怒鳴ったり怒ったりする人

あれは自分に自信がないから

馬鹿にされないよう威嚇しているのだろう

それとも理性で感情や本能を抑えられないのか

そしたら僕もまだまだだね

時々理性で感情を抑えられないから

だからもっと理性を身に着けるための勉強が必要だ

偉そうに威張っている人

あれは本当に自分が偉いと思い込んでいる

謙虚になれと人は言うけれど

いざ上の立場になると謙虚にはなれないんだろうね

もう僕は偉い人になろうとは思わない

僕は他人に甘く、身内に厳しい

やっぱり僕もまだまだだね

身内の人間より偉くなっているのだから

人に甘えているという言い方があるけど

甘えているという言い方は感心しないね

甘えているんじゃなくて依頼しているんだよ

頼れる人間が周りに大勢いることはいいことだよ

頼られる方も大した人たちだ

頼れる人が多いほど

困ったことが起こっても深手を負わないで済む

人を馬鹿にしたりいじめたりするやつ

ああいうタイプも人に頼っているんだよね

人をいじめて自分のプライドを満足させている

それにいじている相手は本人と嫌なところが似ている

似ているところがあるから憎らしいんだろう

よく観ているといじめる側もいじめられている側も似ているよ

いじめっ子の方は似ていることを認めたくないだろうね

認めたらいじめをやめなければならないから

人の悪口を言っている人間も同じだろうね

本人と嫌なところが似ているから

その嫌なところを指摘できるんだろうね

嫌なところを見つけさえしなければ

どうでもいい人間のはずだから

集団で特定の人をシカトすることもあるよね

やっぱり嫌なところが似ているから

関わりになりたくないんだらうね

人を馬鹿にしたりいじめたり見下したりシカトしたり

相手が自分と似ていると認めたくないんだらう

嫌な人間ほど顔とか名前とか覚えていたりする

ああいう犬猿の仲の人間というのは

何かきっかけがあれば仲良くなれそうだけどね

嫌いって思っていた人間も好きになったこともあるし

逆もあるんじゃないかなあ

相手の嫌なところばかり見えてしまえば

関係がうまくいかないに決まっているよ

相手の長所を探すか短所も長所だと思うか

考え次第で人間関係は変わってくる

好き嫌いをはっきりさせるのもいいけど

嫌いな人間とは表面上うまく付き合っていけばいい

自分自身を嫌ったり

自分は人から嫌われていると思ひ込むと

本当に人から嫌われるかもしれない

自分自身を好きになることはいいことだよ

自信を持ち何よりも尊いことでもある

自分がしでかしたことは必ず自分に返ってくる

良いことでも悪いことでも

何らかのご褒美が返ってくる

みんな善人になるより悪人になる方が簡単なのかなあ

当たり前前のが当たり前前のことじゃない世の中になっている

法律さえ犯さなければ自由でいいと思っている

その勝手な自由を僕にもやらせようとする輩が何人もいた

大きなお世話だ

僕は自分の生きたいように生きる

ただそれだけ

だから人が自由に生きているなら

僕も人にやめろとかおせっかいなことは言わない

勝手にさせとけばいい

もう世の中や人間に興味を持たないことにした

そうしたら人の嫌なところも見えたりしない

事なかれ主義とでもいうのだろう

こういう人間に出来上がってしまったのだから

今更変えようがない

それはみんな同じはずだ

前にも言ったけど人は人を変えることはできない

しかし、人を変えるきっかけを与えることはできるだろう

本人が自覚するしか人間は変わりようがない

万有引力の結果

万有引力の結果

人の目はごまかせても自分の目はごまかせない

これはある宗教から学んだ言葉

人間と神とは魂が霊線という絆でつながっている

だから自分の見えているものは神にも手に取るようにわかる

霊線

言い換えれば万有引力

よく恋人同士や夫婦同士で引力を感じるという話がある

それだけ霊線が強く太いということだ

関係が冷めてくれば引力も弱くなる

人間とは地球との引力が最も強い

人間と地球とは一番強い霊線でつながれている

人間の生死に月の引力が影響を与えていることは

よく知られている

神と人間とも霊線でつながっている以上

人間は神の目をごまかすことはできない

閻魔帳ともアカシックレコードとも呼ばれる

今までの言動が全て記録として残っている

人間は簡単に天国へ行けるものではない

Link (リンク)

Link (リンク)

現代は競い合いより

つながりの世の中になりつつある

英語で言えばリンクだろうか

世界はこれからもリンクし続けていくだろう

競争より提携

日本や世界の立て直しはリンクの一言にかかっている

財界や学者、政治家、官僚のみなさんは気づいているのだろうか

インターネットの世界ではリンクは進んでいる

リンクさせることで様々な分野は発展する

日本国内だけでなく世界ともリンクしていく

一つが発展すればリンクして他も発展するし

一つが衰退すれば他とリンクしてカバーできる

一人の行いがリンクし他にも影響を与える

一人の発言がやはりリンクしていく

欧米型の個人主義の世の中も終わるかもしれない

これからは東洋式の絆を大切にする世の中に変わっていく

何々主義というものはいずれは衰退していくものだ

マスコミやITの発達はまさにリンクする世界を表している

世界はやがて一つになれるかもしれない

しかし、そこがゴールではないだろう

世界が一つになってからが真の世の中だ

美

美

人々よ美しくあれ

人々よ美しく生きよ

美を愛する人々は心も美しくなるはず

お金をかけなくても美を愛することはできる

地球や人類の創造主がいるとすれば

創造主は美しい地球を願っている

美を創り出すのは人間しかない

美は愛や平和、健康、幸福にも通じる

人間は美しいものを愛するし

平和な街は美であふれている

体型や健康に気を遣っていれば美しくなるし

美しいところに福の神は宿る

美は身だしなみでもある

身だしなみの美とおしゃれの美は多少違う

身だしなみは人前に出るときは当たり前にする事

おしゃれは異性に気に入られようとしたり

公の場に出るときの姿でもある

できれば言葉やしぐさも美しくありたい

そして美しくあれば世の中は明るくなる

話し合いこそ大人のケンカ

話し合いこそ大人のケンカ

ペンは剣よりも強し

ペンは文筆業だけでなく

芸術、スポーツ、社会科学、自然科学など

広く意味を捉えるべきだろう

剣は無論、武力のこと

武力で反対勢力を抑えようとしても

かえって火に油を注ぐような結果になることもある

やはり人間は話し合うことも時には大事なことだ

話し合いだけでは解決できないかもしれない

それでも無益な血を流すより

何百回でも話し合うべきだ

そのうち妥協点が見えてくる

武力で解決しようなど

子供のケンカと大して変わらない

己が間違っていないと自信があるのなら

話し合いの席に就けるはずだ

そして相手と戦うなら暴力でなく言論で戦うべし

しかもやわらかい言葉で

それが大人のケンカというものだ

ゆうすいの詩集 3

<http://p.booklog.jp/book/58349>

著者：さくらじまゆうすい

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dpmpct5160/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/58349>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/58349>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ